

## 令和 5 年度第 8 回気仙沼市防災フォーラム兼東北大学災害科学国際研究所第 36 回 防災文化講演会を開催しました (2024/1/23)

テーマ：市民みんなで考える防災、気仙沼市  
会場：気仙沼中央公民館（宮城県気仙沼市）

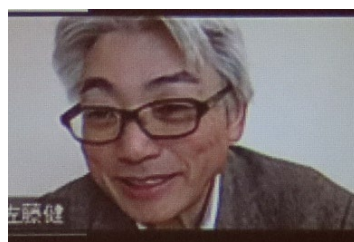
2024年1月23日（火）、気仙沼中央公民館において、「令和5年度第8回気仙沼市防災フォーラム」が開催されました。本フォーラムは、気仙沼市と同教育委員会主催、当研究所、気仙沼ESD/RCE推進委員会共催、気仙沼市立小・中学校安全担当主幹教諭の皆様企画・運営で毎年開催しており、「市民みんなで考える防災」をテーマに、学校、地域住民、企業で交流を図り、これからの防災計画、防災教育について学ぶ場となっています。

当研究所からは、佐藤健教授（防災教育実践学分野）が講演、佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）がファシリテーターを務めました。

今年度は、ポスターセッション、基調講演、実践発表、パネルディスカッションの構成で行われました。2回目となるポスターセッションでは、各校、各企業独自の取り組みについて展示・発表し、発表後には参加者から「このまとめたものを地域の人へ見せてほしい」等の要望を受ける場面が見られました。基調講演では、佐藤健教授から「災害に強いまちづくり～コミュニティ・スクール（CS）を防災に活かす～」の演題で講演、実践発表では、有限会社村伝の村上浩之氏より「介護施設における防災の取り組み」をお話しいただきました。次に、パネルディスカッションでは、佐藤翔輔准教授がファシリテーターを務め「災害に強いこれからの気仙沼のまちづくりについて」を、学生・地域住民・企業・行政の方をパネラーに招き意見交換が行われました。「色々なところとの連携は災害に強いまちづくりにおいて大きなポイントになる」「学生にできること、学生だからこそできる事を探していきたい」等、地域全体で繋がっていくことの大切さを再認識する機会となりました。当日は、市内の中高生をはじめ、学校関係者や自主防災組織等地域住民約160名が参加し、盛会のうちに終わりました。



ポスターセッションの様子  
(オープニングイベント)



基調講演（オンライン）  
佐藤健教授



実践発表  
有限会社村伝 村上浩之氏



パネルディスカッションの様子



パネルディスカッション  
佐藤翔輔准教授



会場全体